



令和5年 11月22日 (水)

### ともに花を咲かせよう

十日、文化会館にて開催の三河音楽会に、文化祭合唱コンクールで最優秀賞に輝いた三年一組が代表として出場しました。文化祭後も出発直前まで、最後の舞台に向け練習を続けてきた思いが伝わる迫力ある美しい歌声でした。

当日、二組の生徒たちは、一組の給食の配膳を買って出て、文化会館からの帰りを待っていてくれました。二組の生徒たちの思いがこもった行動に心を熱くしました。一組が歌った『旅立ちの時』には、「夢をつかむ者たちよ 君だけの花を咲かせよう」というフレーズがあります。卒業という旅立ちに向けて、それぞれが、ともに花を咲かせられることを心より願っています。

十六日は、学校公開日で保護者の皆様や地域関係者の方々に大勢ご来校いただきました。進路説明会・自然教室説明会・性と生命の学習講座のほか、PTA地域総括会議・新本部役員選考会等への「ご出席・ご参観、ありがとうございます」でした。

なお、以前お知らせした、長年の金属疲労と腐食が見られた校地西側の防球ネットの撤去工事が完了いたしました。同時に懸念となっていた雑木も切り倒していただき、景観もずっとよくなりました。そのほか、側溝のふた等の改修工事も近々着工していただく予定です。

### 中学生の発信力に期待

小山田地区（四日）、水沢地区（五日）の文化祭があり、本校生徒の作品も展示いただきました。人権ポスター・標語については、中学生ならではの感性で大人に訴えかける力があるという声が聞かれました。

社会科の作品は、人口減という地元の切実な現実に関心を持って鋭く切り込み、デジタル機器を駆使してまとめられている点が目玉を集めました。この作品は第五十三回三重県社会科教育研究会夏休み作品展において特選（県教育委員会賞）に輝きました。

「これからも社会へ関心の眼を大きく見開き、中学生として将来の自分自身の生き方を考え、社会へと発信できるよう取り組んでいきたい」と考えています。



ネットでの 意見のやりとり 慎重に  
大いしようが その一言で 未来が変わる  
大丈夫 その 意に すぐわかる  
一人では なかなかかえす そうだんしよう  
差別なし 自然にまれる 差別の輪  
残らない 命と同じ 差別の面  
人権は みんなが持つてる 大事なものを  
自分自身 相手は相手の 個性がある  
差別を 見て見ぬふりも いじめやで  
あいつは 人まっける 差別を  
それぞれが 違うけども よいのです  
差別の輪 ひろげるとに 「ありがとう」

※展示いただいたのは、左記の皆さんの作品です。

【ポスター】

【標語】

個人情報につき割愛

【社会科作品】

### 「学校日誌」から

左下の写真は各階に配置した箒チリトリセットを使って東京デイズニーリゾートのカストーディアルよろしく掃除に取り組み様子です。日課の都合で掃除がない日もあります。ごみに気が

ついたら、誰に言われることなく、自ら進んでサツときれいにしよう、という心温まる機運の盛り上がりを楽しみにしています。



本日、期末テストを終了しました。テスト中、廊下を歩いていくと静謐な雰囲気、鉛筆を走らせる音だけが響いていました。このテストに懸ける思い故か、三年生の教室の鉛筆の音が一番大きく感じられました。

テスト問題は、学習指導要領が求める学力観が反映され、文章のほかにも図表・グラフ・写真・イラストなどたくさんの資料が使われています。それらの情報を取捨選択して答えを選んだり、文章で記述したりする問いが多くなっています。

学力は、試験勉強だけでなく、普段から本や新聞を読むことによって鍛えることも大切です。中学生が図書室で借りる本は全国平均で年間9冊だそうですが、本校は年間七・二冊（十一月現在）のペース。テストが終わりましたので、ゆっくりと読書の秋を満喫してほしいと思います。

なお、学校HPの各種情報欄に「図書・新聞と読書活動」のページを開設いたしましたので、お読みください。

